

3月のコース管理データ

	札幌GC輪厚コース	レインボーヒルズGC	泉CC	コムウッドGC	廣野GC	詫間CC	阿蘇プリンスホテルゴルフ場						
グリーンキーパー氏名	梶原 隆司	安藤 義雄	寺町 章	向居 捷洋	佐藤 慎介	田尾 昭範	布山 光孝						
所在地	北海道	宮城県	千葉県	滋賀県	兵庫県	香川県	熊本県						
ホール数	18	18	27	18	18	18	36						
開場年月日	1958/8/12	1992/6/8	1979/9/5	1993/4/25	1932/6/19	1973/10/1	1990/8/5						
標高(m)	100-132	60	23	258	150	0	555-480						
芝地管理面積(m ²)	710,000	600,000	690,000	567,369	360,000	462,000	955,577						
その他管理対象面積	44,000	145,000	350,000	433,000	510,000	83,000	858,284						
従業員数	6	9	8	8	16	9	延べ101人						
パート・アルバイト	15	1	11	4	16	0	延べ0人						
外注	なし	なし	あり	あり	なし	あり	なし						
内容			年間樹木管理、除草剤散布	樹木管理		松くい虫防除、地上散布、シルバー(エアレーション補助)5人×5H(1日)×5日							
気温(右平年差)	0.1	1.2	-2.5	6.2	-0.4	5.8	-0.6	8.6	-0.9	5.7	-0.6		
降水量mm(右平年差)	積雪92cm	48.0	-10.8	92.5	-13.2	68.5	-17.4	89.0	-17.4	59.0	-13.8	197.3	-25.6
晴天日数	15	17	19	12	16	17	16						
曇天日数	5	9	5	6	9	10	3						
雨天日数	0	3	6	7	6	4	9						
降雪日数	11	2	1	6			3(降霜12日)						
基礎データ コース管理全般に関して	積雪が例年の2倍以上あり、オープンが4月16日から4月23日に変更。	3月も寒暖の差が激しく、最低気温が低いことから、春はまだまだ遠いと感じられる。今月のクローズ日数は6日間だった。	更新作業も順調に進んでいる。春の立ち上がりでフェアウェイも少しずつ青くなってきた。日本芝については、昨年の秋の長雨の影響がどうでくるか？心配である。 3月上旬に積雪10cm、3日間クローズとなり、コブシの開花も去年に比べて20日間くらい遅く、サクラの開花も去年に比べて2週間程遅い。あまり慌てて作業せず、気温等を考慮して進めた。	今年も上旬、中旬、下旬と雪が降る寒波の来襲があり、天候が不順な月だった。下旬に予定していたグリーンの更新作業も見送るしか方法がない気象状態だった。フェアウェイ、ラフの更新作業、スライパーかけ等も、雨、雪などで大幅に遅れが出る。軟弱な所が黒く見え、少し見苦しい。グリーンについては、まだ冬の状態だが、中旬の施肥で少し春らしくなってきた。桜のつぼみも少し大きくなった程度で、開花は少し遅れそぞだ。	バンカー砂の入換え、ティフトン芝の張替作業がやや遅れ気味だったが、ようやく終了することができた。グリーンのコアリング、フェアウェイのパーチカル作業も順調に実施できている。 ラフの一部をフェアウェイに使用している個所で、低刈りとパーチカル作業で芽数が少なくなり、ソノバからコウライシバへの張替が必要と考えている。	前半は先月に引き続き、枯れた松の除去、樹木の移植を中心に行い、中旬以降はフェアウェイのパーチカルを実施。昨年に引き続き、レディスティの造成を中心に作業を進める。 スズメノカタビラが多少目立つ所があり、土壌処理剤の散布の遅れも気になっているので、茎葉処理も含めて早急に対応したいと思っている。 グリーンは、エアレーションを行うことで、現在は良好な状態に仕上がっている。	降雪日数3日。最後の降雪は25日で、雪クローズ2日間は昨年と同様であるが、平均気温が5.7と平年値より0.6と低く、春の訪れが非常に遅く感じられる。 春一番の強風も今年は記録されないのではと予測されたが、17日に、昨年より1か月遅れで阿蘇山上にて風速30.4mが観測された。コース内には大量の杉の落ち葉が置き土産として散乱し、その後の降雨とともに気温の上昇があり、12月以降がたい雪のままであったラフ林縁のソノバが可憐な黄色に開花し、場内のラフに点在するアセビの花も一気に開花した。 遅れていた春の訪れを身近に感じ、散布の遅れていたグリーンへの今年初めての施肥を実施する。一気に緑度が改善され、鮮やかなグリーンに変身した。シーズンの始まりを体感した。 コースに隣接する原野の野焼きも20日に無事終了し、原野の春がスタートした。しかし例年であれば場内に点在するコブシの大木が20日過ぎには開花するが、今年は3月内での開花はなく春のおとずれがかなり遅れている事が感じられる。ウグイスの初鳴きが聞かれたのも昨年より10日以上の遅れであった。 多くの業種にわたる作業の遅れが目立つが4月のシーズンに向けて冬季出向社員も月末に帰任し、来月より本格的な盛夏に向けた各種作業がスタートする。						
	課題・問題点	毎年のことだが、雪解け後の雪腐れ病がどの程度になるか心配。 昨年、グリーンにかけたサイドオープンのパーチドレインの結果が楽しみだ。	本年も、寒波と降雪により、春季のメンテナンス作業に影響が出て、半月以上の遅れが出ている。作業計画を組み直して遅れを取り戻したい。	乗用力・H関連の工事もほぼ完了したが、残工事も多い。これから残工事を行い、本格的にメンテナンス作業の開始である。 乗用力・H工事については、運用面で自分が考えていたのと、どう違うか？今後観察して行きたい。	天候不順で、最近では作業の遅れが続いている。作業計画の見直しとともに、作業の効率を高めた。	グリーンをベント化して18年目に入るが、その時に造成したベントナセリがある。長い間あまり手入れをせず、雑草がゴウライシバ、ティフトン芝等が侵入し荒れ果ててしまった。新しくベントクロスベントのナセリを造ることを考えている。	フェアウェイのパーチカル作業を進めているが、一部20m程で轍を通り越して、ラフ用スライパー車のタイヤが20cm程めり込み、田を耕したようになってしまった。 昨年の台風の影響で冠水した箇所だが、やはり目に見えない所で、悪影響が出ているようだ。同様な状態になりそうな場所は、手間だが、手作業で収集作業を行っている。 常に、注意をしておきたい。	2005年の新年以降、度重なる積雪と天候不順により、各種の作業が大幅に遅れているが、幸いな事に気温の上昇に遅れがあり、各種更新作業の遅れは、芝生の生育遅れにあわせた形となり、タイミング的には望ましい状況となった。 例年であれば3月16日より期間雇用のアルバイト作業員が増員されるが、本年度は人件費の上昇分を吸収するため再雇用期間を1か月遅らせ、秋の雇用終了も1か月短縮し、総計で延べ440人工、9.7%を削減し、コース維持費の上昇を抑制する。 しかし、現実的にはコースコンディションの低下を招かず現状レベルを維持する事は非常に困難であり、すでに考えられる作業の省力化は実施済みであり、減少する作業員に対応した手抜き部分の検討が今後の課題である。					
グリーン	芝品種	ベント	ベント	ベント	ベント	ベント	ベント	ベント	ベント	ベント	ベント	ベント	ベント
	造成・播種・張芝年	H5年に10面播種。H6年に10面張芝	新しいもので8年、古いもので27年	H3年5月	H3年5月	昭和54年	平成15年4月	平成4年5月	昭和63年4月	H8年播種	平成元年3月播種		
	刈高(mm) <メイン:サブ>			4.0	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	3.7	4.0		
	刈込回数 <メイン:サブ>			18	2	15	20	20	25	22	17		
更新作業内容			なし	なし	目砂	パーチカル、エアレーション、目砂2回	サッチング+0.1で1回	コアリング10mm、目砂0.8mm	エアレーション8mm、目砂=約1mm×1回、約0.5mm×2回	高圧水土壤深耕1回。パーチカルカット1回(-20mm)、サッチング1回(-2mm)			

			3/24:液肥	3/30:液肥	N0.91-P0-K0.39、微量要素剤1回、活性剤2回	N1.79-P2.76-K2.85、微量要素剤1回、活性剤1回、テトラ(浸透剤)2cc/m ²	グリーンリース3g/m ² 、クロロペース2cc/m ² 、サンフューチャー1.5cc/m ²	なし	マイクロパワー5号20g/m ² 、パーディラッシュS=2.1g/m ² 、マイクロカスタム20g/m ² 、シグマグリーン3.5g/m ² 、マイクロマグホス28g/m ² 、コントロペース3.5g/m ² 、ネガアップ28g/m ² 、サンハニー=2.8g/m ²	施肥2回、抑制剤2回(スポット散布)
コース名称	札幌GC輪厚コース	レインボーヒルズGC	泉CC		コムウッドGC		廣野GC	詫間CC	阿蘇プリンスホテルゴルフ場	
病害		なし	雪腐れ病	なし	なし	なし	なし	なし	なし	
病害程度			少々							
病害対策		3/29:殺菌剤散布(予防)	3/23:殺菌剤散布	グランサー0.5g/m ²	グランサー0.5g/m ²			なし	なし	
虫害		なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	
虫害程度										
虫害対策				なし	なし		なし	なし		
雑草		スズメノカタビラ	スズメノカタビラ	スズメノカタビラ	なし	なし	スズメノカタビラ	なし	一部にスズメノカタビラ	
雑草程度		少々	少々				少		少	
雑草対策		手取除草	手取除草	手取除草			手取除草	なし	トドキサバックエチル10.4% 0.07cc/m ² スポット散布1,200m ²	
オーバーシード										
管理メモ			4月にパッチカルを予定	乾燥害に注意したい	乾燥害に注意したい	シート作業27日終了。大変だった	サッチング、施肥で緑が目立つようになった	芽数調整のため、グルーミングを定期的実施予定	上旬、今シーズン最初の更新作業を hidroプロジェクトにて実施する。例年1年のスタートを意味する作業であり、地下部の成育促進を目的として有機酸酵素を灌注する。土壌微生物の活性化と土壌に固定された肥料成分の吸収促進として実施した。 その後パッチカルとサッチングのダブル施工を行い、サッチ層の改善を計り、盛夏を迎えるための作業をスタートする。一連の作業の遅れにより、一部ホールの施工が4月にずれ込んだ。一部グリーンで、スズメノカタビラが混成している部分に出穂抑制を目的として成育抑制剤のスポット散布を2回実施	
芝品種	ベレニアルライグラス	ベレニアルライグラス	コウライ	ミッドサイト	ブルーグラス	コウライ	コウライ	コウライ	コウライ、ティフトン	コウライ、一部ベレニアルライグラス
刈高(mm)			9.0	9.0	10.0	10.0	10.0	9.0	12.0	暖地芝12mm、寒地芝12mm
刈込回数			0	0	5	0	0	0		暖地芝0回 寒地芝0回
更新作業内容			なし	なし	なし	なし	スーパー3回	なし	なし	なし
施肥・活性剤・抑制剤等			なし	3/24:液肥	N0-P0-K0、活性剤1回、バイオターフプラス1cc/m ²	ラティオ5cc/m ²	なし	なし	なし	寒地芝に施肥1回(グリーンカラー含む)
病害			なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	ラージパッチ跡
病害程度										少
病害対策					殺菌剤1回	殺菌剤1回		なし	なし	なし
虫害			なし	なし	なし	なし	ミズ	なし	なし	一部にミズの糞塚
虫害程度							少			少
虫害対策			なし	なし	なし	なし		なし	なし	なし
雑草			なし	なし	なし	なし	スズメノカタビラ	スズメノカタビラ	ライグラス(株)、スズメノカタビラ	一部にスズメノカタビラ
雑草程度							少	少		少
雑草対策			4月から土壌処理剤の散布を予定	手取除草	なし		手取除草、除草剤スポット散布	手取除草	手取除草	なし
オーバーシード						なし				
管理メモ							除草剤スポット散布の効果が出ている			例年冬季期間は来場者数が大幅に減少するため、擦り切れによる損傷はほとんど無く、過去に実施したライグラスのオーバーシートもすでに一部のホールのみとなり、毎年の土壌処理剤散布薬害により、衰退し、元の高麗100%に戻りつつある。今年もスポットで張り替えを実施し、完全にライグラスを除去するように計画したい
芝品種	ベレニアルライグラス	コウライ	コウライ		コウライ	コウライ	コウライ	コウライ	コウライ	フソウコウライ
刈高(mm)			15.0		15.0	15.0	9.0	15.0	14.7	
刈込回数			0		2	0	1	0.0		
更新作業内容			3/15:パッチカルモア後、スーパー	パッチカル、スライサー	パッチカル、スーパー	パッチカル3回掛け、スーパー	パッチカル、スーパー掛け	なし		
施肥・活性剤・抑制剤等			なし	ラティオ5cc/m ²		なし	なし	なし	なし	
病害			なし	なし	なし	なし	なし	なし	ラージパッチ跡	
病害程度									少	
病害対策			なし	なし			なし	なし	なし	
虫害			ミズ	なし		ミズ	なし	なし	なし	
虫害程度			若干			少				

	虫害対策		殺虫剤散布	なし		なし	なし	なし
	雑草		スズメノカタビラ、タンポポ	なし	スズメノカタビラ	スズメノカタビラ	スズメノカタビラ	一部にスズメノカタビラ
	雑草程度		若干		少	少	少	少
	雑草対策		茎葉処理剤、スポット処理	なし	除草剤をスポット散布	手取除草。一部アージラン薬液処理	手取除草	なし
	オーバーシード							
フェアウェイ	コース名称	札幌GC輪厚コース	レインボーヒルズGC	泉CC	コムウッドGC	廣野GC	詫間CC	阿蘇プリンスホテルゴルフ場
	管理メモ		4月から土壌処理剤散布			フェアウェイライン出し作業	パーティカル作業は、一部で大きく傷ついた所もできたが、順調に進んでいる	先月末より実施したパーティカルの施工も上旬に完了し、ストックヤードの芝刈りカスと落ち葉の堆積場所に搬入されたフェアウェイのサッチが、さらにその量を増加し、見上げる程の高さに集積されており、来月、発酵を促進させる嫌気性の微生物資材と混合する。1年間の発酵後、来春のパーティカル施工が終わった後にフェアウェイへ戻される。今年度の堆肥散布は4月に繰り越したとなった
ラフ	芝品種	ベレニアルライグラス	ノシバ	ノシバ	ノシバ	ノシバ	ノシバ	ノシバ
	刈高(mm)		55	50	50	35	40	50
	刈込回数		0		0	0	0	Aラフ0回 Bラフ0回
	更新作業内容		スーパードで枯草収集	スライサー	スーパード	スーパード	なし	なし
	施肥・活性剤・抑制剤等		なし	なし	なし	なし	なし	なし
	病害		なし	なし	なし	なし	なし	ラージパッチ跡
ラフ	病害程度							少
	病害対策		なし	なし	なし	なし	なし	なし
	虫害		なし	なし	ミス、モグラ	なし	なし	なし
	虫害程度							
	虫害対策		なし	なし	なし		なし	なし
	雑草		スズメノカタビラ、タンポポ、その他広葉雑草	なし	スズメノカタビラ	スズメノカタビラ	スズメノカタビラ	一部に、スズメノカタビラ、こぼれライグラス、ノビル、ベント
雑草程度		少々		少	少	少～中	少	
雑草対策		茎葉処理剤、スポット処理	なし	除草剤をスポット散布	ハーレイ及びアージラン薬液処理	一部手取除草	除草剤スポット処理	
	管理メモ		4月より土壌処理剤散布予定	その他作業:松樹幹注入作業、樹木肥料施用	モグラに対して、ハーブペレットを散布する。効果があるようだ	グリーン周辺のティフトン芝張替工事。はみ出しベントのゴウライ及びノシバの張替作業		気温の上昇とともに秋季の土壌処理剤未散布箇所での雑草の緑が目立ち始める。しかし、特に対策を実施せず例年、来月以降ロータリーモアでの刈取りにて対応している。一時期見苦しいが目をつむる事になっている。今年には遅れているが、毎年実施する苗木への固形肥料の施肥と、台風による倒木後の花木苗木の植栽を行った